

平成26年度授業シラバスの詳細内容

| | | | | |
|---------------|---|-----|-------------|---------|
| 科目名(英) | 情報特別演習7 (Special Exercises in Media Technologies 7) | | 授業コード | C194801 |
| 担当教員名 | 坪倉 篤志、赤星 哲也、濱田 大助、星芝 貴行、伊藤 研、足立 元、坂井 美穂、吉森 聖貴、福島 学 | | 科目ナンバリングコード | |
| 配当学年 | 4 | 開講期 | 前期 | |
| 必修・選択区分 | 選択 | 単位数 | 1 | |
| 履修上の注意または履修条件 | 課題に対する取り組み等を重視します。出席を欠かさないで下さい。 日本国内での就職活動生は、全員、履修してください。(学科推奨科目) 履修制限: 当該学年次のみ履修可、再履修: 不可 | | | |
| 受講心得 | 授業時はもちろん、学内外での取り組みも重要になります。 | | | |
| 教科書 | | | | |
| 参考文献及び指定図書 | 就職基礎Drill 実務教育出版(2年前期 社会参画応用にて配布) 就職活動の神様の一般常識 問題集 ユーキャン就職試験研究会 他必要に応じて 就職活動の神様の一般常識 速習テキスト ユーキャン就職試験研究会 中3五科(10分間基礎ドリル20) 学研教育出版 就職活動の神様の一般常識これだけ! 一問一答集 ユーキャン就職試験研究会 就職活動の神様のSPI2問題集(ユーキャンの就職試験シリーズ) 就職活動の神様の一般常識「超」定番の1,000問プラス最新時事(ユーキャンの就職試験シリーズ) | | | |
| 関連科目 | 各種専門科目、社会参画系授業、情報特別演習(1~8)、研究ゼミナール、卒業研究 | | | |

| | |
|-------|---|
| 授業の目的 | 4年間で取り組んでいるキャリア教育プログラムの4年目のステップです。就職活動者は、より実践力に磨きをかけることを目的に、実践的演習と、個別就活面談に取り組みます。 |
| 授業の概要 | 本授業では、就職活動者の実践的能力のさらなる向上と就職活動に取り組みます。定期的に個別就活面談を行い、選考への取り組み状況と抱えている問題や悩みについてヒアリングを行い、早期の解決に取り組み、また実際の就職活動にどんどん取り組みます。定期的に個別就活面談を行い、選考への取り組み状況と抱えている問題や悩みについてヒアリングを行い、早期の解決に取り組み、また実際の就職活動にどんどん取り組みます。これらの取り組みから、就職活動で必要な能力の向上と、進路が確定できるよう、取り組みます。 主テーマ 就職活動者は、より実践力に磨きをかける!! |

| ○授業計画 | |
|---|--------------------------|
| 学修内容 | 学修課題(予習・復習) |
| 第1週: ガイダンス 本授業での取り組みについて説明を行いません。 | 配布資料。活動報告書。進路希望調査、18か月計画 |
| 第2週: 企業訪問報告 就職委員が訪問した企業について、企業紹介を行い、事業内容について紹介します。また学生諸君のキャリアとの関連についても解説します。 | 活動報告書 |
| 第3週: 個別就活面談① 各研究室毎に、就職委員が就職活動生と面談します。面談の中で就職活動でのつまづきや抱えている問題点をヒアリングし、個別に指導を行います。必要に応じて企業等を紹介します。なお実施日は研究室毎に曜日と時間枠を個別に設定します。 | 活動報告書 |
| 第4週: 企業の方々のお話①、九州の企業 企業で活躍されている方々から、業界の実際についてお話をいただきます。講演後の質疑応答時間にて、質問能力などの育成も行います。 | 活動報告書 |
| 第5週: 企業の方々のお話② 企業で活躍されている方々から、業界の実際についてお話をいただきます。講演後の質疑応答時間にて、質問能力などの育成も行います。 | 活動報告書 |
| 第6週: 個別就活面談② | |

| | | |
|---|-----------------|-----------------|
| 各研究室毎に、就職委員が就職活動生と面談します。面談の中で就職活動でのつまづきや抱えている問題点をヒアリングし、個別に指導を行います。必要に応じて企業等を紹介します。なお実施日は研究室毎に曜日と時間枠を個別に設定します。 | 活動報告書 | |
| 第7週：面接練習①(個別就活面談③) 実践的演習として、面接をテーマに取り組みます。3年生と合同で行い、より実践能力に磨きをかけます。また学生を小グループにわけ、今週と次週で取り組みます。 | 活動報告書 | |
| 第8週：個別就活面談③(面接練習①) 各研究室毎に、就職委員が就職活動生と面談します。面談の中で就職活動でのつまづきや抱えている問題点をヒアリングし、個別に指導を行います。必要に応じて企業等を紹介します。なお実施日は研究室毎に曜日と時間枠を個別に設定します。 | 活動報告書 | |
| 第9週：各種練習①(個別就活面談④) 就職活動に関連した各種練習に取り組みます。学生を小グループにわけ、今週と次週で取り組みます。練習においては該当グループ内で苦手とする事項に注力します。 | 活動報告書 | |
| 第10週：個別就活面談④(各種練習②) 各研究室毎に、就職委員が就職活動生と面談します。面談の中で就職活動でのつまづきや抱えている問題点をヒアリングし、個別に指導を行います。必要に応じて企業等を紹介します。なお実施日は研究室毎に曜日と時間枠を個別に設定します。 | 活動報告書 | |
| 第11週：グループディスカッション(個別就活面談⑤) 実践的演習として、グループディスカッションをテーマに取り組みます。3年生と合同で行い、より実践能力に磨きをかけます。また学生を小グループにわけ、今週と次週で取り組みます。 | 活動報告書 | |
| 第12週：個別就活面談⑤(グループディスカッション) 各研究室毎に、就職委員が就職活動生と面談します。面談の中で就職活動でのつまづきや抱えている問題点をヒアリングし、個別に指導を行います。必要に応じて企業等を紹介します。なお実施日は研究室毎に曜日と時間枠を個別に設定します。 | 活動報告書 | |
| 第13週：個別就活面談⑥ 各研究室毎に、就職委員が就職活動生と面談します。面談の中で就職活動でのつまづきや抱えている問題点をヒアリングし、個別に指導を行います。必要に応じて企業等を紹介します。なお実施日は研究室毎に曜日と時間枠を個別に設定します。 | 活動報告書 | |
| 第14週：各種練習②(個別就活面談⑦) 就職活動に関連した各種練習に取り組みます。学生を小グループにわけ、今週と次週で取り組みます。練習においては該当グループ内で苦手とする事項に注力します。 | 活動報告書 | |
| 第15週：個別就活面談⑦(各種練習②) 各研究室毎に、就職委員が就職活動生と面談します。面談の中で就職活動でのつまづきや抱えている問題点をヒアリングし、個別に指導を行います。必要に応じて企業等を紹介します。なお実施日は研究室毎に曜日と時間枠を個別に設定します。 | 活動報告書 | |
| 第16週：期末試験 | | |
| 授業の運営方法 | (1) 授業の形式 | 「演習等形式」 |
| | (2) 複数担当の場合の方式 | 「オムニバス方式」 |
| | (3) アクティブ・ラーニング | 「アクティブ・ラーニング科目」 |
| 備考 | | |

| | |
|-----------------------------|--|
| ○単位を修得するために達成すべき到達目標 | |
| 【関心・意欲・態度】 | 4年 就職活動に取り組み、進路の確定を行なう。様々な業界に視野を広げ、進路を決める。 |
| 【知識・理解】 | 実践的な就職活動に向けた、知識の習得 |
| 【技能・表現・コミュニケーション】 | 演習を通して集団面接の実践能力やグループディスカッション能力を育成 |

| | |
|-------------------|--------------------|
| 【思考・判断・創造】 | 就職活動に向けた実践的な判断ができる |
|-------------------|--------------------|

| ○成績評価基準(合計100点) | | | 合計欄 | 100点 |
|--|---------------------|-------------------|------------------|------|
| 到達目標の各観点と成績評価方法の関係および配点 | 期末試験・中間確認等 (テスト) | レポート・作品等 (提出物) | 発表・その他 (無形成果) | |
| 【関心・意欲・態度】 ※「学修に取り組む姿勢・意欲」を含む。 | | 20点 | 5点 | |
| 【知識・理解】 ※「専門能力<知識の獲得>」を含む。 | | 20点 | 5点 | |
| 【技能・表現・コミュニケーション】 ※「専門能力<知識の活用>」「チームで働く力」「前に踏み出す力」を含む。 | | 20点 | 5点 | |
| 【思考・判断・創造】 ※「考え抜く力」を含む。 | | 20点 | 5点 | |

(「人間力」について)
 ※以上の観点に、「こころの力」(自己の能力を最大限に発揮するとともに、「自分自身」「他者」「自然」「文化」等との望ましい関係を築き、人格の向上を目指す能力)と「職業能力」(職業観、読解力、論理的思考、表現能力など、産業界の一員となり地域・社会に貢献するために必要な能力)を加えた能力が「人間力」です。

| ○配点の明確でない成績評価方法における評価の実施方法と達成水準の目安 | |
|------------------------------------|-------------------|
| 成績評価方法 | 評価の実施方法と達成水準の目安 |
| レポート・作品等 (提出物) | レポートの提出、レポートの記載内容 |
| 発表・その他 (無形成果) | 課題やワークへの取り組み |